

友 愛

発行所

財団法人

日本友愛青年協会

友愛青年連盟

文京区音羽 1-7-1

電話 03-3941-2801

03-3943-1888

FAX 03-3944-2550

(3月末日まで)

発行人 田中恭一

編集人 松井壮一

鳩山邦夫会長「新友愛」を力強く語る

―(仮称)鳩山友愛政経塾・友愛基本問題検討委員会に指小―

総会議事録・平成七年度事業計画等を報告

三月十七日午後一時より衆議院議員会館に、鳩山邦夫会長を萩原直三君が訪れ、最近の友愛健君が同席した。



鳩山邦夫会長を囲んで

会長は、友愛の再建に入った昨年から活発な運動に深い理解を示され、自らも友愛の哲学について語られると共に、友愛の進むべき方向に明確な指示をされた。

また総会での決定事項である、今年度の事業計画やシステムの改善についても諒解された。「友愛基本問題検討委員会」の基本方針についても、その構成について会長に一任された。「鳩山友愛政経塾」についても大きな期待を寄せられ、会長自身先頭に立って活動するとの決意を述べられた。その基本構想づくりについては、準備室の構成も含め近日中に指示すると述べられた。

我々としては、ここまで会長が友愛を大事にし、かつ心配して下さっていることに深く感動を覚えると共に、友愛活動に対する確信を深めた。会長を中心に友愛の再建と発展に取り組む方針をさらに充実させる必要性を痛感した。

鳩山由紀夫常任顧問、大野重男中青連会長と懇談 ―青少年団体の社会への役割で意見一致―

三月十三日午後一時三十分より都内のホテルで、中央青少年団体連絡協議会(中青連)会長大野重男氏・同事務局局長清田一夫氏と鳩山由紀夫常任顧問・萩原直三君が、青少年活動の現状と問題点について懇談した。野間健君も同席した。

席上、大野氏はいわゆる青少年団体の置かれた状況について説明すると共に、友愛に対する期待も述べられた。鳩山常任顧問はご自身もさらに研究し、できるだけ協力すると答え、極めて内容の濃い懇談となった。この席で語られた様々な点は、文部省、総務庁等関係官庁にも働きかけることで一致した。

また、話題は「阪神大震災」におけるボランティアの役割や、行政の問題にまで発展した。青少年団体からも多くのボランティアが現地に入り、現在も活躍中であること、また、それに対して、中青連としても具体的な行動を起こしたいことなどを、大野会長は語った。それについては、鳩山常任顧問も積極的な意見を出され、有意義な時間のうちに、近々の再会を約し、懇談が終了した。



右から、大野重男中青連会長・萩原直三委員長・鳩山由紀夫常任顧問・清田一夫中青連事務局長

鳩山一郎先生三十六回忌早朝墓参会



挨拶をする鳩山安子理事長

三月七日(日)は鳩山一郎初代会長の命日で、三十六回忌に当たる。

当日は、早朝の穏やかな天気に恵まれ、八時より日暮の谷中墓地において恒例の早朝墓参会を催し、約五十名が参加した。出席者会員の墓参後、石橋義夫連盟副会長より、故一郎会長の逝去された当日の様子が述べられ、鳩山安子財団理事長からは、鳩山家を代表しての挨拶があった。

その後、事務局が用意した、おにぎりを朝食代わりにとり、懇談後それぞれの勤務先へ向った。



お参り後、おにぎりを食べながら...

鳩山精神の原点に

「熱気溢れる議論を展開」

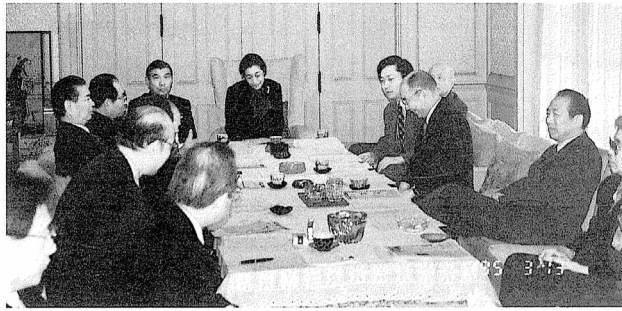
平成七年度第一回

総会議事録から

日時：平成七年三月十一日（土）
午後二時～四時（於：鳩山邸離れ）

◎「議事進行表」に従い、平成七年度第一回友愛総会が開催された。開会にあたって、鳩山邦夫会長の代理として牧義夫秘書から「友愛再生の為、会長を支え、本郷事務所も積極的に協力する」との心強いご挨拶を頂いた。また、鳩山由紀夫常任顧問の代理として小久保重孝秘書が、常任顧問の友愛に寄せる期待を中心にご挨拶された。引き続き、議長には松井壮一君が、書記には野間健君が選出され議事に入った。

◎早速、奥田吉郎元委員長をトップパターに参加者が自己紹介を兼ねて、友愛に



ついでに課題や展望、期待など、日頃考えていることを一言ずつ述べた。

◎友愛らしい事業への見直しを今年度の事業の規模も内容を、現在の友



新しい体制への期待を語る奥田相談役

財団理事会・評議員会開催される

活発な意見を交換

財団法人日本友愛青年協会は、三月十三日午前九時から音羽・鳩山邸応接室で、第四十九回理事会・第四十二回評議員会を開催した。新年度の事業計画、予算などについて審議し、併せて本部事務局の移転について了承した。また、長年専従職員として活躍された永田清成氏の辞任の挨拶があった。新事務局長については、理事長に一任された。

愛の力量に合わせ徹底した「見直しを図る」ことで一致した。また特に、非常な支出と人を伴う事業については、財政状況の厳しさから言って、削減または縮小することとした。資料として、昨年度の「理事会・評議員会要覧」と執行部提案の「平成七年度予算案」を参照した。

◎友愛基本問題検討委員会の設置決定
前回設置の「規約改正委員会」は、名称、事業目的、規約及び財団との関連を含む大きな基本問題と密接に関係するので、「友愛基本問題検討委員会」として発展的に改組することとした。委員には歴代委員長等にも加わって頂くことにしたが、全般的にわたる委員の委嘱は会長に一任することとした。また、誤りなきを期す為適切な時間をかけ、次回までに一旦、中間報告を出すことにした。

いずれにせよ、最終的な判断は会長に一任することになった。

なお、前執行部からのスムーズな引き継ぎを行うため「事業、財政、経理等引き継ぎ委員会」の設置もされ、3月15日以降、永田前委員長を交えて会議を持つこと



石橋義夫常務理事 鳩山安子理事長



鳩山由紀夫理事 川手正一郎常務理事

とになった。宮川君と角田君が担当になり、次回その報告をすることになった。また、さまざまなシステムの改善についても両君に「たき台」の検討を依頼し、併せて報告してもらうことにした。

◎「全員野球」の精神で

当面、名誉役員については現状のまま御願ひすることとした。ただ、現執行部の最終的な性格や構成については、「友愛基本問題検討委員会」の結論が出た段階で、会長の指示を受けることとした。



国際交流について語る村瀬君

との認識で一致した。なお、その意味から、委員長代理に田中恭一君（元委員長）と松井一君（元委員長）が満場一致で選任され、それぞれ、事務局長役や「友愛」の編集長役をお願いすることにした。両君もこれを快諾した。

また、従来の職務に加えて、野間君には委員長補佐を、三浦君には事務局長の補佐をお願いすることとし、満場一致で了承された。

◎鳩山友愛政経塾（仮称）開設決まる

「鳩山友愛政経塾」の開設準備について執行部より提案があり、萩原君がその趣旨説明を行なった。議長がその開設準備室について語ったところ、その開設は満場一致で承認された。

なお、これについては会長に基本方針を決定し、頂いた後、諸役員各位に報告し、その検討を受けて、準備に取りかかることにした。

◎阪神大震災関係など

1、阪神大震災ボランティア活動について、大阪支部長の佐々木慶久常任委員より、詳しい報告があり、併せて「義援金

平成七年度の事業計画

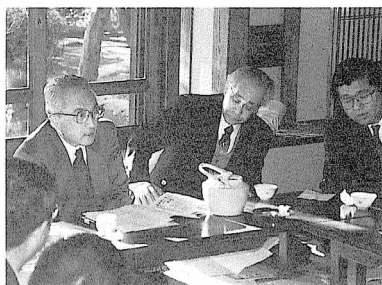
- 4月 中韓連・日韓青少年団体定期協議
（軽井沢友愛荘にて懇親会開催）
- 5月 AYC（アジア青少年団体協議会）
総会（ソウル）
- 6月 JICA シンガポール青年受入
- 7月 アジアセミナー主催
- 8月 リーダースキャンプ主催、
森林塾参加（東京都主催）
- 9月 国際会議主催
- 10月 JICA アセアン混成青年受入
- 11月 日本語弁論大会主催、
リートコンクール主催
- 12月 英語弁論大会主催

平成 8 年

- 1月 東南アジア使節団派遣
- 2月 中国使節団派遣、
日韓文化交流基金主催韓国青年受入
- 3月 JICA アフターケアチーム派遣

*その他随時研究協議会・
社会開発セミナーを開催予定

募金」の目録が本連盟に渡された。
2、同じく、財団に寄せられた「阪神大震災義援金募金」の状況について事務局より報告があった。また、当日の会場で



地方からの声を語る大谷さん（山形）



阪神大震災のキャンパを贈呈する佐々木大阪支部長

も義援金の申し出が続出した。
3、新事務所移転に伴う事務の連絡等について説明と報告があった。また事務局の地図等も配布された。



新年度の事業計画・予算案を全員で討議

阪神大震災から二ヶ月

友愛の心でボランティア

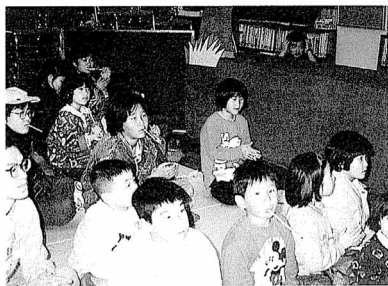
紙芝居集団「城北」グループと共に避難所を訪問

2月12日(日) 東灘区 西郷小学校
3月5日(日) 東灘区 元氣村
3月12日(日) 東灘区 六甲小学校

これらの学校の図書室・理科室・校庭や広場で、子ども達との触れあいを通じ、慰問を行った。紙芝居、南京玉簾、マジック、等パフォーマンスで支援の輪を広げている。子ども達も自然と、高学年は低学年の面倒を見て、被災者たちの中からきめ細かい心配りがあり、自分達の原

紙芝居集団「城北」は子ども達に夢を

久しぶりの笑顔を見せる子どもたち



体験から将来の価値観を掴もうとしている。炊き出しの人々や被災者の話を聞いてみると、全国から消防車や自衛隊の青年達が熱意をもって支援をしてくれたり、また近所でも挨拶もしなかった暴走族が救援のために倒壊家屋から助けを呼んでいる人々に血を出しながら鉋を使って柱を必死に切っている姿を見ると涙が自然出てしまったそうである。友愛全国支部からの熱意をまとも大阪支部も長期の活動につなげたい思いである。

(大阪支部 支部長 佐々木慶久)



笑いを忘れた地域のために

被災地の皆様に心よりお見舞い申し上げます

義援金をお寄せ下さった方々(敬称略・順不同)

高岡治子・増岡正剛・高橋潤子・田辺克育・森喜朗・深津栄一・真鍋真美・小室久枝・三浦静江・伊藤拓・井上晴子・戸来勉・中嶋信行・米川洋・金沢治・宮崎辰實・目黒正文・飯高潤・海野哲聖・畠山晴海・菅原純・加藤朱美・小泉剛康・照井孝由・榎弘美・前田英弘・福井政男・黒須彩子・松本保子・中川治男・渡辺義隆・加藤順

子・遠藤祐司・橋本良一・萩原吉太郎・野上千代・大矢祐子・神保みゆき・坂野和徳・岩館和子・山崎俊一・天沼美枝子・但井裕子・萩元周代・杉田芳留・田中孝治・久保園寛・今岡貴志・佐野敏彦・鈴木美知男・川田ひよ志・吉田喜美・磯山吉春・神保富美子・種田英子・大滝桃子・大川米子・西木まさ子・小松伯啓・島崎照代・金

田中恭一・野村明美・卯月研造・西村米雄・宮川博史・小松純子・飯野智之・鳩山由紀夫・小久保重孝・萩原直三・松井壮一・松本祥子・大滝氏・山本氏・上野氏・オトゴン・バヤル・ナレスダムロンチャイ・渡辺千恵子・佐々木恵美子・長谷部真洲子
鶴巻克雄・安鳴路・山下清一・大塚利兵衛・大西厳治・鹿島昭一・桂由美・川野安道・大川邦夫・明神登美子・松葉邦男・三浦厚志・永田清成・諸井茂・古川貴盛・渡辺文雄・渡辺宏・菅原明
(順次お名前はご報告の予定)

「誠実な継続こそが大切」

慶応義塾大学 環境情報学部 一年 関戸将平

復興はこれから

東京などではマスコミによる報道以外に情報は入ってこない。最近のように報道がめっきり減ってきたと、あたかも復興しつづけるように思いついてしまふ。マスコミによる報道の影響は多大であること、そして、その報道の仕方次第で国民がこんなにも左右されていくのかと驚いている。実は、復興はまさにこれからである。せいぜい暗中模索の状態であつた復興への道のりにうずすらしと明かりから一歩一歩歩んで行こう」としているのが現状である。確かに百貨店も開きはじめたという明るい話題もあるのだが、反対にまだガスも水道も通っていない地区も存在している。つまり、震災後二ヶ月を経て、復興状況に差が大きく出てきているということである。国民の関心が薄れつつある今、このことは大きな問題である。

社会的に弱い立場の人に
そうした中で取り残されてしまふのは、やはり社会的に立場の弱い人々であつた。知的障害者は養護学校や専門のボランティア団体によってある程度ケアがなされ



中央が関戸君(後ろは「宿舎」のテント)

顔ですが、それさえもできない方が一番心配なのである。しかし、このような方法で情報を集めるのであるから、実に効率が悪い。ここで必要となってくるのが、ボランティア同士の横のつながりである。ところが残念なことに、縄張り争いに似たことが、やはりボランティア同士にも見られる。私はそのようなことは実にばかっていると感じた。被災者を助けるはずのボランティアが自分の功名心のために働くようになってしまっていることにある種の苛立ちを感じずにはいられない。とにかくボランティア同士の情報交換をもっとしっかりと、効率を良くしていかなくてはならないと思う。



一日も早い復興を

心(の)ケアに全力を
今から必要となっていく仕事は心のケアであらう。それは専門家でなければできないなどと思つてはいけない。この仕事は人によっては向き不向きはあるにせよ、専門家に劣ることのない素晴らしい心を持つていける人はたくさんいる。だから資格は関係ないと思う。問題は期間である。このような一対一の仕事には少々時間を必要とする。大変なショックを受けたのだから、ゆっくり癒していかなければかえって逆効果になる。またボランティアは、いつかは立ち去らなくてはならないのだから、あまり長過ぎてもお互いによくないのである。そこで重要なのが仕事の引き継ぎである。しっかりと引き継ぐことによって被災者の方々はボランティアの限界も理解してくれと思う。状況を正確に伝える。また短期的なボランティアのできる大切なことは、戻ってきたから、いかに状況を正しく伝えるかだと思ふ。行つたきりではなく、その気持ちを是非、継続していくべきだと思ふ。心が継続しているならば、現地にいた期間の長さによって優秀を決められるようなことではないし、また、もともボランティアに優秀などはないのだと思ふ。

忘れてならないのは、本当に現地の方々に喜んでいただけたかどうかである。私は再び三月二十三日から現地に入るつもりである。

友愛の動き

○友愛婦人会

三月七日、鳩山邸離れにて「友愛婦人会総会」が開催された。当日は多数の方々がお見えになり、鳩山安子会長の挨拶の後、久しぶりの懇談が行われた。

○友愛茶道部

友愛茶道部は、三月四日、新生友愛の誕生を記念して、茶道部発生の地である音羽の会長邸離れで茶会を行った。この日は生憎の天候であったが、新日の茶道会員が皆ハッキリと茶を楽しんでいた。茶道部は会の性質上、女性が多く集まる。しかし年頃になると結婚し、部を離れざるを得ない。こうして部を離れた人達も、

友愛の「日韓交流」盛大に

「福井県連・韓国青年二十四名を受入」

日韓学術文化交流事業の訪日研修団の青年二十四名を、友愛青年連盟福井県連で二月十七日から二十日まで受け入れ事業を行った。

この事業の本格的準備に入ったのが、十一月二十五日、本番まで約二カ月しかなかった。

JICA事業で八カ月の準備を要したことを考えると、心の中に一抹の不安がよぎったことは否定できない。武生市長公室をはじめ、各種国際交流団体への協力依頼、企画や準備等々。書類のコピー枚数は四千枚を超した。

いよいよ当日、緊張して出迎えたが、青年達の笑顔と、日本語で直接会話でき



日韓合同の「そば作り」

ることで、その緊張もどこかに吹き飛んでしまった。最初のプログラムである武生市長表敬も、大変なごややかに、そして市長への質問も活発に行われ、充実した内容であった。

この後、チマチョゴリ姿で華やいだ歓迎会、カラオケとディスコダンスで盛り上がった二次会・翌日の手廻り紙体験・そば打ち体験・ボウリング大会・熱烈歓迎のホームステイ・最終日の味真野小学校での児童との交流等々。充実した日程はあっという間に過ぎ去った。

見送りの駅のホームでは、女性達が涙を流してくれた。「この次は韓国で会いましょう」日本の青年達も感激していた。この感動が今までの疲れを吹き飛ばし明日へのエネルギーを生んできた。

最後に、日本にとって最も近い国の韓国、過去の歴史を繰り返さないためにも、若い世代の交流がいかに大切かを学んだ交流事業であった。

日韓交流の新たな友情を記念して (2月17日)



石田勝之衆議院議員
(元中央常任委員)
「新友愛に期待します」



3月17日議員会館で

茶は特に人との出会いを大切にします。「一期一会」の言葉が表すところである。友愛の精神にも通じるところがある、と私は思っている。今日、初めて茶に出合った人も、再会を約して散会して行った。

○友愛JICAアフターケアチーム、インドネシアへ派遣
三月十五日関西空港から、五名の友愛会員が二十三日までの予定でインドネシアに旅立った。友愛では一九八九年以来、四回にわたりJICA (国際協力事業団) のインドネシア青年招へい事業に協力して、青年の受け入れを行ってきた。今回はそのアフターケアとして、受け入れに尽力をした各地の友愛関係者が、JICAの招待でインドネシアの青年、関



「一期一会」— 茶道部の皆さん

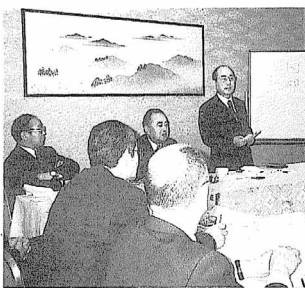
係者と交流を深めるべく、ジャカルタとロンボクを訪問する。メンバーは、正本良忠 (友愛広島県連会長)、佐々木慶久 (友愛大阪支部長)、佐々木美智子 (友愛大阪支部、中村忠司 (友愛武生支部)、茂野好江 (友愛岡岡支部) の五名。現地での様子は次号詳報。

○第三〇次友愛東南アジア使節団

文部省補助事業でもある第三〇次友愛東南アジア使節団がインドネシア・ホノコンに向けて、三月二十二日 (水) 出発するようになった。団長は池田正雄氏、秘書長は事務局の三浦厚志君がたることになった。団員には小松純子氏 (杉並支部長、田中忠氏 (澤村流事務所)、岡本鏡子氏 (芸名・澤村仙竜、練馬支部)、中川美佐子氏 (芸名・澤村仙翠、練馬支部)、野村明美氏 (友愛舞踊研究会会長)、野村由美氏 (高校生、前田静子 (高校教師) の少数精鋭の構成であるが、各氏とも友愛とアジア諸国との友情を一層深めるため活動を展開してくるとの決意を語った。

○友愛クラブ例会

三月八日 (水) 正午より第三〇八回の友愛クラブ例会がキャピタル東急ホテルにて開催された。当日の講師は経済評論家・白鷗大学講師の森木亮先生であった。急激な円高を受けての日本の経済の状況や予測について鋭い分析が語られた。講演終了後のいつもの質疑応答は、当日の経済問題だけでなく、阪神大震災での諸問題にまで発展し、時間を忘れての白熱した例会になった。



友愛クラブ：講師に森木亮先生を迎えて



建築中の頃の軽井沢友愛山荘

～軽井沢友愛山荘～ 第2期工事完成

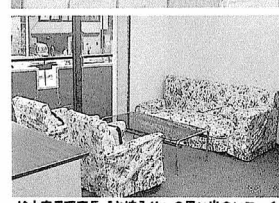
皆さまのご利用をお待ち
しております!!

軽井沢駅より徒歩7分
上越高速の「碓井・軽井沢」
出口より約10Km

(お問い合わせは本部事務局まで)



新事務所は左側の茶色のビルの2F



鳩山安子理事長「お帰り」の思い出のソファも...

～新事務所のご案内～

〒112 文京区小石川4-21-2

ハイツ小石川2F

☎ 03- 5684-3188 (代)
5684-3187

FAX. 5684-3186

営団 丸の内線「茗荷谷」駅

下車徒歩7分

(4月3日より新事務所での
業務を開始します)

